

平成30年7月

豪雨災害の復興に向けて



がんばるけん  
えひめけん



愛媛県復興支援シンボルマーク

平成30年10月9日（火）

# 1 県内の主な被害状況

大洲市内



【大洲市全体の被害】  
死者：4人  
住家被害：3,132棟

宇和島市（吉田町）



【宇和島市全体の被害】  
死者：11人  
住家被害：1,818棟

西予市（野村町）



【西予市全体の被害】  
死者：5人  
住家被害：635棟

怒和島（松山市）

大島（今治市）

今治市（吉海町泊）



【今治市全体の被害】  
死者：2人  
住家被害：109棟

松山市（上怒和）



【松山市全体の被害】  
死者：4人  
住家被害：434棟

## 2 発災後の対応・応急復旧対策

### 災害対応の基本方針

「地域を守る」ため、「人を守る」「生活を守る」「産業を守る」

#### 1. 人命救助



○自衛隊、消防、警察等との  
連携により **133名救出**

#### 2. 水の確保



○最大12市町 **31,068戸が断水**  
○宇和島市三間地区・吉田地区も8月上旬に通水

#### 3. 住居環境の早期整備

○仮設住宅の整備 **8月下旬完成**  
○民間住宅の借上げ、公営住宅の提供等

### ○宇和島市吉田地区の浄水施設の復旧



被災直後の吉田浄水場（7月5日）

土砂災害により、浄水場が被災

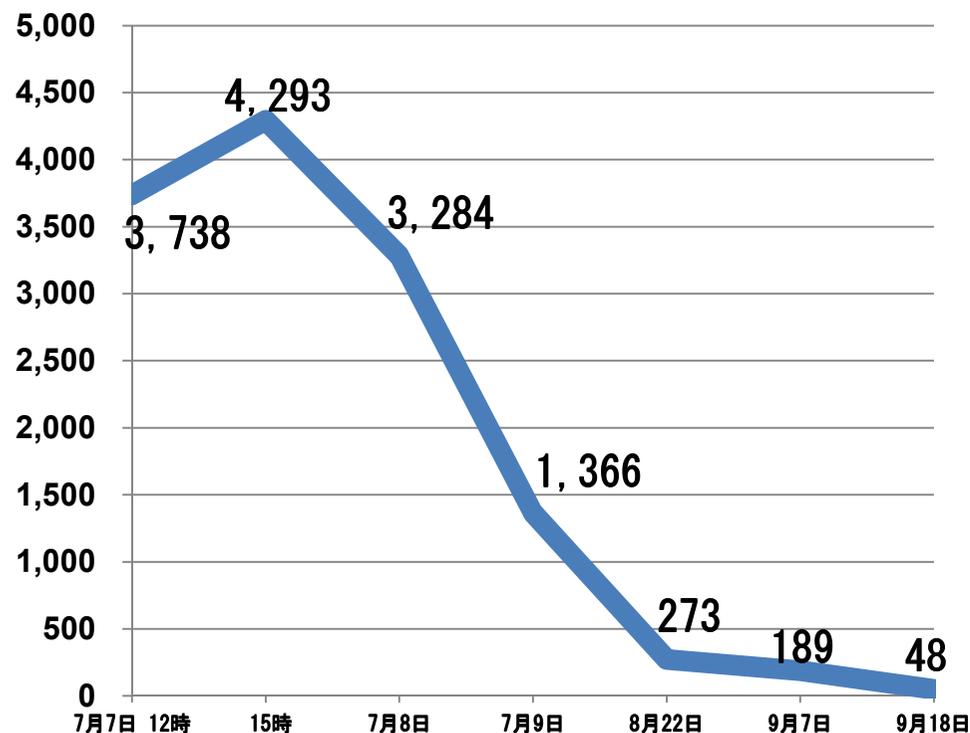


宇和島市吉田町の仮浄水施設（8月4日）

関係省庁、東京都等の支援を得て、  
8月4日に通水

### 3 住居環境の早期整備

#### ○避難者の推移



#### ○仮設住宅等の整備・提供

建設戸数 176戸

(宇和島市12戸、大洲市60戸、西予市104戸)

**8月下旬完成→9月上旬から入居開始**

#### ○仮設住宅（西予市野村地区）の特徴

- ・可能な限り県産材を使用
- ・コミュニティ・スペースの設置

コミュニティ・スペース



仮設住宅



## 4 被災地の復興に向けた取り組み

### ○愛媛県復興本部の設置（8月30日）

### ○復興に向けた取り組み

- ・被災者の生活再建の総合的な支援

支援金の支給、健康支援、児童生徒の支援、被災箇所の早期復旧

- ・かんきつ農業の復興

ワンストップ相談対応等、被災農家の営農再開等支援、農地・農業用施設の復旧支援

- ・中小企業者の支援による地域産業の再生

グループ補助金、ふっこう周遊割、商工・観光業者への支援

- ・公共インフラ施設の早期復旧

公共施設等の復旧、道路・交通機関の復旧

